

# 永遠のモダンの追求者、重森三玲とは

1896(明治29)年に現在の吉備中央町吉川で生まれ、日本の伝統美である茶道・いけばなの奥義を極めただけでなく、日本全国の著名庭園を実測し、図面に起こし、文献調査まで行うなど、後世を見据えた庭園史研究家、昭和を代表する作家として、活躍し、これらの分野に多大な功績を残しました。

- 【略歴】1939年(43歳) 京都府東福寺方丈庭園完成  
 1953年(57歳) 大阪府岸和田城庭園完成  
 1976年(79歳) 京都府松尾大社庭園一庭を残し完成

同年3月没、同年5月長男完途により残一庭の「蓬莱の庭」完成

## 「重森三玲氏の庭園めぐり」のスポットご紹介

天籟庵



18歳の時に設計した茶室処女作であり、船底天井といわれるアーチ型の天井や、三つの床の間、不規則で幾何学的に貼られた障子紙など、三玲ならではのこだわりがちりばめられています。また茶庭・露地は天籟庵移築時(73歳)に作庭、海と陸とを抽象化した意匠が彩色セメントで表現されています。

重森三玲記念館



「日本庭園史図鑑」や「日本庭園史体系」等多数の著作を始めとし、書画・絵付けした茶器等・知人への手紙・21歳の頃から続けた日記などを収蔵しており、三玲の生活の一端を回顧することができます。また同記念館右手には、孫の重森千青氏によるその名も『三玲』という庭園があり、皆様を出迎えてくれます。

生家跡



三玲処女作の先代天籟庵庭園は、生家跡の最奥部に大仙院庭園を思わせる枯滝石組のある枯山水庭園です。建物が全てなくなった生家跡に、滝から流れ出した砂の河は、南へ南へとゆったりと流れており、まるで生家跡の守護神のようで、この姿は現在も不変です。地域の皆様のボランティア活動により現在も維持されています。

友琳の庭



京都の友琳会館中庭に73歳の時に作庭したこの庭は、友琳会館の取り壊しに伴い吉備中央町庁舎中庭へ移築されました。束ね熨斗模様をアレンジした池泉式庭園で、池水は深度を浅くして透明度上げ、螺旋状に流動させています。また北側の庭は天の橋立をデザインしています。

三玲生誕の地・吉備中央町には、他にも「旭楽庭」、「曲鶯庭」、「功德庵」等、多くの庭園・茶室が残されており、正に重森三玲の聖地(生地)にふさわしい地域といえるでしょう。



岡山県加賀郡吉備中央町は、県のまんなか位置し、「へその町」といわれています。吉備高原台地の一角を占め、豊かな自然がもたらす四季折々の風景、美味しい食べ物、多くの文化財などの魅力がいっぱいです。



**Kibichuo**  
岡山県吉備中央町  
観光ガイド

観光ガイド

instagram



## ワンコイン乗合タクシー周遊プラン申込み書 年 月 日

申込み締切日：タクシープランご利用の7日前必着

※申込内容の確認後、メールまたはお電話にて、受付完了のご連絡をいたします。  
 (未着の場合はお問い合わせ下さい/お問い合わせ先：賀陽交通株式会社 TEL 0866-56-7201)

### ① ファックスでのお申込み / FAX: 0866-56-8228 (賀陽交通株式会社)

代表者名			ご人数	計 名 (代表者含む)	
E-mail			電話番号	(日中連絡可能な番号)	
ご住所	〒				
◆◆◆◆ 本プランは航空便及びかんとり～バスのご利用者限定のプランです。◆◆◆◆					
航空便利用	月 日	・ANA 便名 ・JAL	月 日	・ANA 便名 ・JAL	かんとり～バス利用 月 日
タクシープランご利用日 (希望日に○印)	7/23・7/30・8/6・8/20・8/27・9/3・9/10 9/17・9/24・10/1・10/8・10/15・10/22 10/29・11/5・11/12・11/19・11/26			利用コース (希望日に○印)	Aコース・Bコース

### ② インターネットお申込みフォーム >>>>>>

